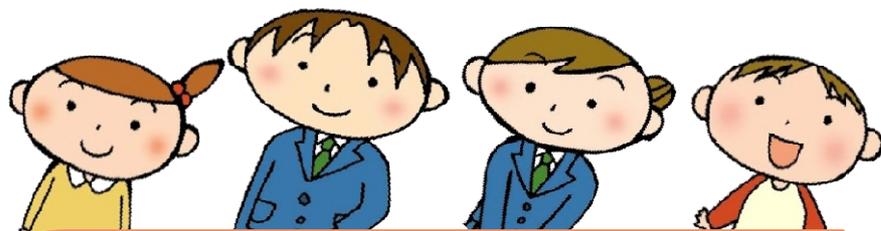


平成28年度

ティーンズミーティングの概要版



私たち子どもは
地域のことや人との
つながりについて
こんなことを考えています



子どもたちの
思いや考えに耳を傾け
子どもが健やかに育つために
何が必要かを考えてみませんか

平成21年12月に制定した尼崎市子どもの育ち支援条例をもとに、尼崎市が「子どもたち一人一人が大切にされて、たくさんの人に支えられて育つまち」になるための取組の一つとして、子ども目線で社会はどう見えているのかなどを知り、市の行政や地域の大人の取組に活かしていくために、平成23年度より「ティーンズミーティング」を開き、小・中学生の思いや考えを聴いています。

平成28年度は、これまでに引き続き7月下旬に、小・中学校7校で各1回、10人程度のグループをつくり、「つながり」をキーワードにティーンズミーティングを開催しました。

小学校（5・6年生）47人、中学生21人に意見を聴きました。



テーマ1 「地域の大人力を借りて実現してみたいこと」

小学生の意見

(1) 地域の大人力を借りて実現してみたいことってどんなこと？

学びたい

- ・ 尼崎市の歴史や文化について学びたい
- ・ 大人と交流して昔の知恵や遊びなど、色んなことを聞きたい
- ・ 映像や数字を活用して、命の大切さやありがたさを学びたい
- ・ 仕事について知りたい
- ・ 将来なりたい仕事の見学や体験をしたい
- ・ まちをきれいにするために、ごみ拾いの活動をしたい

イベントを企画して、地域の人ともっと交流したい

- ・ ボランティア活動をしたい
- ・ トレイや空き缶を回収して、リサイクルに組みたい
- ・ スポーツ選手になれるように、経験豊富な人に指導して欲しい
- ・ 地震や津波が来た時に備えて、地域の人と学校と、一緒に避難訓練をしたい

(2) どうすれば実現しやすくなると思いますか？

大人

趣味や得意なことを地域の人に伝えられる場をつくる
 子どもの自由研究にもなるので、お寺の僧侶が写真を活用しながら、寺町の歴史について話す機会をつくる
 どんな職業に就きたいかアンケートをとって、子ども達の考えを知ってから仕事の見学に行く
 スポーツのルールをよく分かっている人が子どもに教えられるように、スポーツ指導員を免許制にする

大人・子ども

家族や地域の人と一緒に、尼崎市の歴史を学びに行く
 大人は子どもに、子どもは将来大人になった時に次の世代に、自分が学んできた命の大切さを教える
 地域の情報をたくさんの人に伝える方法を考えて、大人には何を手伝って欲しいか伝える
 今までボランティア活動してきた高齢者と一緒に、活動する
 友達に呼びかけて募金活動をして、集まったお金は市役所から被災地に届ける

子ども

ごみ拾いをしようと、地域の人や先生に声をかけたり、チラシをつくって呼びかける
 イベントの企画から参加する
 回収した物品でつくったリサイクルボックスに実物の空き缶やペットボトルをつけて、分別しやすくする
 ペットボトルのリサイクルボックスの形をペットボトルの形にするなど、分かりやすく興味を持ってもらえるような工夫をする



中学生の意見

(1) 地域の大人力を借りて実現してみたいことってどんなこと？

仕事について知りたい、体験したい

- ・ トライやる・ウィークで体験できる職種を増やして欲しい
- ・ 色んな人と交流したい
- ・ 高校生や大学生から、学校生活の話を聞きたい
- ・ 他校の生徒会がどんな活動をしているのを知りたい
- ・ 中学生が企画から参加できる、地域のイベントを増やしたい

親が家に帰ってくるまで、ご飯を食べたりして子どもが安心して過ごせる地域の居場所をつくりたい

学びたい

- ・ 「選挙」というものがよく分からないので、模擬選挙をしたい
- ・ 伝統文化を学ぶために、着物の着付けや郷土料理の作り方を教えてもらいたい

尼崎市や校区のイメージアップをしたい

(2) どうすれば実現しやすくなると思いますか？

大人

「20歳からは大人です」と言われてもどうしたらよいか分からないので、「大人」とはどういう人のことを言うのか、子どもに教える
 事件の報道は悪いイメージになるので、事件数が減ったかどうか報道する

大人・子ども

職業体験が難しい職種は、その仕事をしている人から話を聞く機会をつくる

子どもが将来どんな職業に就きたいと思っているのか、大人に伝える機会をつくる

中学生と高校生がお互いに学校を行き来して、交流する機会をつくる
 親が子どもの成長を見ることができるよう、親子で参加できるイベントを考える

地域の大人は「親が帰ってくるまで子どもが1人で家に居る」という状況を知らないかもしれないので、子どもの状況を知ってもらうために、地域の大人と子どもがかかわる機会を増やす

子ども

生徒会の活動報告書を他校に配る
 引き継がれている感じがするから、母や祖母から着物の着付けを教えてください

テーマ2「地域の大人に改善してもらいたいこと」



小学生の意見

(1) 地域の大人に改善してもらいたいことってどんなこと？

自転車は交通ルール・マナーを守って欲しい
・周りの人に危険が及ぶような、自転車の乗り方をしないで欲しい
・自転車の交通事故を減らして、安全なまちにして欲しい
・自転車は通行場所を守って欲しい
公園にごみをポイ捨てしないで欲しい
よくない言動をしている子どもがいたら、大人が注意して欲しい

人懐っこくなるので、面倒を見ないのに猫に餌をあげないで欲しい
子どもが寝る時間や夜遅くに、道路で騒がないで欲しい
ごみ出しのマナーを守って欲しい
不審者がいるとよく聞くので、校区内のパトロールを増やして欲しい

(2) どうすれば改善しやすくなると思いますか？

大人

子どもの自転車事故の賠償金を親が払わないといけない時もあるので、交通ルール・マナーを守るように、子どもにきちんと教える
公園の中のごみ箱がどこにあるのか分かり難いので、みんなの目につくところに置く
子どもの見守り活動をする人は、学校ではどんなことをしたら叱るのか知った上で、よくない言動をしている子どもがいたら注意する
猫に餌をあげるだけで飼えないなら、保護施設に預ける
まちの安全を守るために、ボランティアの人や警察が見回りをする

大人・子ども

周りの人のことを考えた行動をする
ポスターをつかって、ごみをポイ捨てしないように呼びかける
リサイクルできるものはリサイクルボックスに捨てるように、身近な人に呼びかける
子どもからも注意するが、それでも聞いてくれない時は大人が注意する
不審者を見かけた場所や人目につきにくい場所を地図にして、地域の人や先生に知らせる

子ども

身近な人に呼びかけることから始めて、注意できる人を増やしていく
「自転車に乗りながらスマートフォンを操作していたら、こんな事故に遭いました」という劇をして、地域の人に危険さを知らせる
ごみ箱の捨て口に「ポイ捨て禁止」と書いたり、ごみの分別が分かるように絵を貼ったりする
ポイ捨てした人の目の前でそのごみを拾って、ごみ箱に捨てる



中学生の意見

(1) 地域の大人に改善してもらいたいことってどんなこと？

子どもの目の前で当然のように信号無視をしないで欲しい
・車も自転車も歩行者もみんな、「交通ルール・マナーを守る」という意識を持って欲しい
タバコを吸う人はルール・マナーを守って欲しい
・歩きタバコをやめて欲しい
夜に道路で、大声で話すのはやめて欲しい
バスや電車の中でのマナーを守って欲しい

子どもへの接し方を考えて欲しい
・大人は子どもに「歩きながらスマートフォンを操作したり、道路で大声で話すな」と言うけれど、大人もしているので、自分の行動を振り返って欲しい
・子どもがよくないことをしていたら頭ごなしに怒るのではなく、何がダメなのかを教えて欲しい
学校に不審者が近寄らないようにして欲しい

(2) どうすれば改善しやすくなると思いますか？

大人

歩行者用信号や横断歩道がない交差点は、渡ってよいのか分かりにくいので、横断歩道などを設置する
タバコを吸う人は、携帯灰皿を持ち歩く

大人・子ども

親子でボランティアに参加して、交通ルール・マナーを守るように呼びかけるポスターをつくる
酔うと声が大きくなるので、何杯までならお酒を飲んでいいか家族で話し合う

子ども

大人に「マナー違反は恥ずかしいことだ」と自覚させるために、子ども達がまず交通ルール・マナーを守る
知っている人がタバコの吸い殻をポイ捨てしていたら、「ポイ捨てしないで」と言う日頃から地域の人と交流して、不審者がいた時に助けてもらえるような関係をつくる



テーマ3「子ども同士の関係を、よりよくするためにできること」

小学生の意見

(1) 子ども同士の関係が「うまくいかなかったこと」ってありますか？ その理由は何ですか？

人のことをからかう人がいた
 仲間はずれにされた
 意見が合わなくてケンカになった
 遊びや冗談がきっかけでケンカになった
 物の貸し借りがきっかけでうまくいかなかった

秘密を守ってもらえなかった
 不真面目な人に注意したら、うまくいかなかった
 SNSがきっかけでうまくいかなかった
 自分の言動がきっかけでうまくいかなかった

(2) 子ども同士の関係が「うまくいかなかった」時に、どうすれば解決しやすくなると思いますか？

大人

・ケンカをしている人に、なぜケンカになったのか聞く

大人・子ども

・ケンカをしている人がいたらまずはとめに入ったり子ども同士で話し合うが、それでもやめなかったら大人に相談して、大人がとめに入る
 ・子ども自身が問題を解決できるように大人が子どもに助言したり、仲直りできる方法を一緒に考える
 ・(障害者だという理由でからかう人がいるので、) 障害者の大変さを体験できるイベントを企画する

子ども

・ケンカをしたりいじめている人を見かけたら、周りの子どもが止めに入ったり優しく注意したりする
 ・自分が言われて嫌な気持ちになるようなことは言わない
 ・人の悪口を言う人に、「あなたの考えは本当に正しいの？自分がされたらどう思う？」と問いかける
 ・色々な考え方があるということをつかんだ上で、広い心で相手を受け入れる
 ・ケンカをした時は、どっちが正しいか間違っているかではなく、自分のよくなかったところを認めて相手と話し合う
 ・人を傷つけるような言葉を言わないように心がける
 ・悪口を言われている人に、「気にすることないよ」と声をかける
 ・からかった人が謝ることができるように、その人の友達が話し合える状況をつくる
 ・ケンカをした時は一度その場を離れて、冷静になってから話し合う
 ・SNSを使う時の注意点を学校で教わっても時間が経つと忘れるので、子ども同士で注意し合う

中学生の意見

(1) 子ども同士の関係が「うまくいかなかったこと」ってありますか？ その理由は何ですか？

SNSの使い方がきっかけでうまくいかなかった
 大人がケンカの仲裁に入ったことで、さらに関係が悪くなった
 やる気のある人となない人がいてケンカになった
 冗談がきっかけでうまくいかなかった

意見が合わなくてうまくいかなかった
 友達の親から「うちの子と話さないで」と言われたので話せなくなったら、その友達から「何で話してくれないの」と言われて、関係が悪くなった



(2) 子ども同士の関係が「うまくいかなかった」時に、どうすれば解決しやすくなると思いますか？

大人

・子どもに困っていることがないか、子どもの様子を気にかける
 ・子ども同士で問題を解決した後に、必要以上に口を出さない
 ・子ども同士が仲良くできるように、自分の経験をもとにアドバイスする
 ・子どもは自分の考えを持っているので、親同士の仲がよくない場合でも親の考えを子どもに押しつけない
 ・子どもの話を聞く

大人・子ども

・大人は、子ども同士の問題をできるだけ子ども自身で解決できるように見守り、子どもは、本当に困った時は大人に相談する

子ども

・相手の気持ちも考えながら、納得いくように自分達で冷静に話し合う
 ・困ったことがあった時は、大人や友達に相談する
 ・からかっている人がいれば、「そのへんにしとけよ」と声をかける
 ・からかっている人をとめることは難しくても、からかわれた人に「大丈夫？」と声をかけて寄り添う
 ・からかっている人がいたと大人に伝える

フリートーク

小学生の意見

気づいたことなど

尼崎市には課題があること
「こういう言動は人の迷惑になるのでしない」と、自分で決めておくことが大切だということ
話し合うことの大切さ
・子ども同士の関係について話し合って、どのように解決したらよいか分かった
・自分と似ている意見でもそれぞれの考えがあるので、人の意見を聞くことが大切だと気づいた

明日からやってみようと思うこと

尼崎市をごみのないまちにする
自分の言動に気をつける
いじめている人がいたら注意する
自分ができそうなことには積極的に取り組んで、できることを増やす
ごみをポイ捨てしたり信号無視をしている人がいたら注意する
地域のイベントに参加して、色んなことを学ぶ
ケンカやいじめをとめる
ケンカをした時は殴り合わず、落ち着いて相手の意見を聞いて、話し合いで解決する
友達の良いところを見つける



中学生の意見

気づいたことなど

色んな意見があること
人の意見を参考にしたら色んなことを考えられるので、話し合うことが大切だと気づいた
みんなが意識を高く持つことで、尼崎市はもっとよいまちになる
自分は解決できない問題だと思っていなくても、解決できると考えている人がいること

明日からやってみようと思うこと

意識して行動する
・周りの人の迷惑になることをしていないか考えて行動する
・からかっている人をとめることはできなくても、からかわれた人に声をかけて寄り添う
自分の生活態度を見直す
尼崎市の課題とその改善策が分かったので、尼崎市をよくするために、できることから始める
地域とつながることの大切さが分かったので、地域の行事に参加したり、地域の人に挨拶をして関係を築く
これまで親とあまり話さなかったが、学校での出来事などを少しでも話す
学校で「相手を思いやる気持ちを持つ」ということを教えてもらっているので、学んだことを意識して行動する
学校の代表として生徒会ができてきたので、取り組めるように考える
ティーンズミーティングで出た意見や感じたことを、友達に伝える

参加した感想

小学生の感想

普段から思っていることを言えてよかった
自分では考えつかない意見を聞くことができてよかった
地域のことを話し合う場はあまりなかったので、よい経験になった
楽しかった
まちの安全など、普段考えないテーマについてみんなの意見を聞きながら話し合えてよかったし、楽しかった
尼崎市はまだまだ成長できるということが分かったので、少しでもよいまちになって欲しい
みんなで話し合って改めて分かったこともあったので、とても勉強になった

中学生の感想

ファシリテーターがいると意見を言いやすく、普段から思っていることを言えてよかった
尼崎市をよくするために意見を出し合えてよかった
自分では考えつかない意見を聞いてよかった、楽しかった
ティーンズミーティングで出た意見が、地域の人や市役所の取組に活かされたら嬉しい
時間が過ぎるのが早く感じるくらい、楽しかった
ティーンズミーティングに参加して、尼崎市をもっとよくしたいと思った
当たり前のことをしようという意見が多かったので、みんなが常識的な行動ができたらいと思った

ワークショップを
実施しています！



子どもの声に耳を傾け 大人ができることを一緒に考えてみませんか？

ティーンズミーティングでの子どもの声を聴いて、「地域住民として何ができるのか？」を考えるワークショップを実施しています。

将来地域の担い手となる、今の子どもたちみんなが健やかに育つために、「今何ができるのか」を考えてみませんか。

*グループ単位で申込を受け付けています。詳しくは下記連絡先へ問い合わせ下さい。

「平成28年度ティーンズミーティング開催結果」の詳しい内容については、
尼崎市ホームページの「ティーンズミーティング開催事業」をご覧ください。



Home > Living Information > Learning & Play > For Business Owners > Municipal Information

現在位置: ホーム > 市が考える尼崎 > 子ども関連施策 > 尼崎市子どもの育ち支援条例 > 条例の理念実現のための取組 > ティーンズミーティング開催事業

市政の情報

条例の理念実現のための取組

- ▶ [地域社会の子育て機能向上支援事業\(子育てコミュニティソーシャルワーク\)](#)
- ▶ [子ども家庭相談支援体制整備事業\(スクールソーシャルワーク\)](#)
- ▶ [ティーンズミーティング開催事業](#)

ティーンズミーティング開催事業

この事業は、条例の理念を実現していく取組の一環であり、平成23年度から複数年をかけて公立小学校・中学校の子どもを対象に、広く思いや考えを聴こうとするものです。

子ども同士の話し合いを通じて、思いや考えを聴くことにより、「子ども目線で社会はどう見えているのか。」「子ども同士の関係を子どもはどうとらえているのか。」を把握し、(1)必要に応じて、子どもの視点から見た、子どものニーズを踏まえた子ども関連事業の構築などにつなげるとともに、(2)地域住民などが、子どもの思いや考えを知ることにより、子どもの育ちに関心を持ち、関わる可能性を高めることを目的としています。

開催結果

平成28年度

- ▶ [平成28年度ティーンズミーティング開催結果\(PDF 2.0 KB\)](#)
- ▶ [平成28年度ティーンズミーティングの概要\(PDF 2.0 KB\)](#)

尼崎市 こども青少年本部事務局 こども政策課

〒660-8501 尼崎市東七松町1丁目23番1号

電話番号 06-6489-6341

Eメール ama-kodomoseisaku@city.amagasaki.hyogo.jp

ホームページ <http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/>